



鈴鹿の

# レガシー

～写真でみる80年～ その4

1942(昭和17)年12月1日に誕生し、今年で市制施行80周年を迎える鈴鹿市。80周年にちなみ、このコーナーでは本市の発展を振り返ります。

## 神戸周辺

昔(昭和30年)

宅地造成前



現在の近鉄鈴鹿線

昔(昭和30年代)

宅地造成後



現在



※市役所から撮影

神戸地区での宅地造成は、昭和30年度から当時の神戸矢田部町地内(現在の神戸九丁目付近)で行われました。これは、本市での初めての宅地造成事業でした。

現在、近鉄鈴鹿線は平田町駅まで続いています。当時は伊勢神戸駅(現在の近鉄鈴鹿市駅)が終着駅として、市民の皆さんに利用されていました。

昔(昭和27年)



現在の近鉄鈴鹿市駅

現在の市役所

現在



市役所

出典：米極東空軍撮影の空中写真(昭和27年撮影)

## ひと・まち・モータースポーツ

### モータースポーツお宝探検隊 vol.16

元トヨタ系レーシングチームのマネジャーだった柴田友美さん(寺家)。その幅広い人脈から、かつてF1日本GP開催時には多くのレース関係者が柴田家を訪れ、食事をしたり泊まったりと、にぎやかな週末を送っていました。当時現役F1ドライバーとして活躍していた片山右京さんもその1人。鈴鹿での下積み時代に柴田さんと同じチームで戦って以来、縁がありました。そんな気心の知れた間柄でしたが、柴田さんは「お腹を壊して明日の走行に響いたら…」と細心の注意を払って夕食の準備をしていたそうです。

リラックスした時間の中で、年に一度の母国GPIに向けて鋭気を養っていた片山さん。故高橋国光さんからは、年下にもかかわらず「お母ちゃん」と親しみを込めて呼ばれた柴田さんの温かさや優しさが、片山さんの戦いに向かう大きな力になっていたのでしょう。

柴田さんのお宅には、片山さんから贈られたヘルメット(複製)やレーシングスーツが今も大切に保管されています。



■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

## 広報すずか 2022年10月5日号

### キーボード

秋になり、過ごしやすい季節になりました。7月から9月にかけて、コロナ禍で開催を見合わせていたお祭りなどが、感染対策を取りながら復活しました。私も取材活動で「すずフェス」や「鈴鹿げんき花火大会」を訪れ、数年ぶりにお祭りの雰囲気を感じました。踊り子の皆さんのはじける笑顔に元気をもらい、夜空で満開に咲く花火の美しさに圧倒され、何より鈴鹿のまちが以前のにぎわいを取り戻しつつあるの

がうれしく思いました。

来る10月29日は、史跡指定100周年を記念し、伊勢国分寺跡歴史公園で伊勢国分寺まつりが開催されます。歴史公園でのお祭りは今年が初めてとなり、コンサートや天平衣装行列、体験ブースや屋台村が出店するなど、楽しい企画が盛りだくさんです。秋の思い出づくりに、皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。(晴)



スマートフォン用  
広報すずか

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) 🌐 <https://www.city.suzuka.lg.jp/>  
 ■編集/政策経営部情報政策課 ☎059-382-9036 ☎059-382-2219 📧 [johoseisaku@city.suzuka.lg.jp](mailto:johoseisaku@city.suzuka.lg.jp)  
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 八野就労支援センター印刷係 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810

この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。